正予算が議決され、それ 度になるのか。以上3点合、その進捗率はどの程 について聞く。

状況となっている。 から試験電波を発信する 最後の西峰局が12月8日 西峰局の5か所ができ、 アンテナが大豊局・大田 しかし、この5局だけ 局・豊永局・岩原局 大豊町内には地デジの

待たなければならず、こうか、これからの調査 Ŋ の調査の結果を受けて対 庭で受信できているかど 地域について、 ンテナから直接受信する 送が受信可能となる。 域は全て地上デジタル放 信施設で受信していた地 完成すると今まで共同受 り15施設となっている。 では20施設を計画してお 整備を進め、 信施設を平成19年度から 町内に46施設ある共同受 では到底大豊町内を力 -することはできず、 現在5施設完成し残 平成22年度 全ての家 ア を

策を実施していく段階で

ある。

# 佐藤德治議員

いたい。 いて何か問題があれば伺 る部分の主たる要因につ 予期間はない。残ってい ミットまではさほどの猶 平成23年7月のタイムリ 施設とのことであるが、 5施設完成し残りは15

### 岩﨑町長

る。 かし、 り、その対応が残ってい受信できない世帯があ 世帯で、デジタル放送が 送を直接受信できていた う計画で行ってきた。 受信施設を設置するとい 要な箇所について、 従来共同受信施設等必 今までアナログ放 共同 U

## 佐藤德治議員

が集まって組合を組織しる補助であり、2戸以上 設組合という団体に対す ない。しかし、 なければ補助対象になら この補助事業は共聴施 人暮らしや二人暮ら 本町には

> 重いと思うが、町長はど補助がなく非常に負担があり、そういった方には距離的に離れた一軒家も の高齢者が非常に多く う考えるか。

> > になる。

### 岩﨑町長

が、 り、どれぐらいの個人負個人負担という条件があ の補助制度ができている いて施工し、 国の設計基準に基づ 世帯を対象とした国 その10%の

> ないが、サービスを受け応するか今は検討している場合に町としてどう対 平性を基本に考えなけれ **ふる。高額な費用がいかいるかが非常に問題** 支援の公 補助することはできない個人負担との差額を町が 世帯対策における高額な も3万5千 円である。

り組む。

きであり、

本町独自の携

感じさせない施策をすべ

# り、今後検討、工夫をして

ばいけないと思ってお

る側での助成、

では、 きたいと考えている。

## 岩﨑町長

町民の皆さんの立場で、 公平な負担で同じサービ スが受けられるように取 基本的な考えとしては

携帯電話の不感地帯の解消 | 写に対して地域の実情をしっかりと訴え|| 携帯電話不感地帯解消のため町独自の取組を 佐藤德治議員 は、個人負担は最大で共聴組合への補助事業

^

の取組は

考えるが、

町長の考えを

り組みを進めるべきだと 帯電話不感地帯解消の取

佐藤德治議員

不感地帯が存在すると思 豊町内全体には相当数、 区などが該当する。 例えば久寿軒地区、峰地 地域がある。そういう地 る ことから推し量れば、 域を不感地帯と呼ぶが、 がつながらない地域、 天坪地区では携帯電話

> うが、 状を把握しているか。

いは感度が非常に悪い この あ

町長は具体的に現

地帯は、6か所ぐらいある。 岩﨑町長 現在把握している不感

レビと同様に、今やわれ携帯電話についてもテ 佐藤德治議員

われが生活していく上

ŧ めとした社会機能の一部 となっており一時たりと

おいて、 もとより経済活動をはじ から大人まで日常生活は のとなっている。子ども 必要不可欠なも

現状である。平成20年度 られなくなっているのが に総務省の取り組みとし 「携帯電話の不感地帯 その利便性から離れ

事業、いわゆる国庫補助があった。これらは国の解消に向けた補助事業」 か 外人口の多い所、 事業なので、 民に生活上の不公平さを 町長としては、 の実施が優先される。 成果の見えやすい地域へ 地方行政を預かる 交信エリア やはり町 つまり

### 岩﨑町長

る。  $\subset$ みをしてきたが解消されするなど、様々な取り組 は 社に町の方で経費は全て ないかという問 持つから施設を整備でき 不感地帯解消について いないのが実態で ある民間携帯電話会 かけを あ

されつつある等、 が可能になる技術が開発 数に見合う事業費で通信 戸数が少なくピンポイン 的に入らない所にも戸 携帯電話につ は

む。確かに協力を求めるによっての不公平感を生

事業者が複数なので簡単

# 答問 積極的に取組悪路の町道等維持修繕を早急に施工せよ

町道・農道・林道の維持管理の徹底を



電話の不感地帯の解消に う努力をしながら、

携帯

努める考えである。

佐藤德治議員

いが、

機種によって電波

私の素人考えかもしれな られていることである。 出す電話機種がauに限 題とするのは、町の貸し

トワー

ク事業」の名が泣

せっかくの

「見守りネッ

リアしていかなければ 何とかしてこの問題をク にはいかないと思うが、

は別物であるので、

当

に向けて、

最大限の努力

く。町内の不感地帯解消

不感地帯もそれぞれ

しての「見守りネッ

-ク事業」については、

異なってくる。

つまり、

が、

町長の見解を聞く

をしてほし

いと考える

本町独自の取り組みと

続き国に対して地域の実 その状況も見ながら引き

今

る。

ここで私が問

時に対応する部門も 帯電話を貸し出して緊急

あ

技術が開発されており、

る

また、

希望者に携

民でありながら住む場所

後の施策で反映してもら 情をしっかりと訴え、

本町の町道・農道

ているところである。 万円の予算で現在施工し ため、本年度約3億5千 の改良や維持管理を行う

的に取り組む

ある。平成23年度も積極

至っていないのが実態で適な通行を確保できるに

総延長からみて快

い。れで良いとは思っていな 差があるというのは、 当然町として努力しなけ 域で受けられるように 皆さんそれぞれ居住の地 いで町独自のサービスに 同じサービスが住民の 携帯電話が入る入らな そ か 思慮するものである。 る。 ていないと見受けられ維持管理が適切に行われ 有の財政危機に陥り、そが、平成15年ごろの未曽 に厳しいことを理解し 道の総延長は約%㎞ある 定の我慢もしてきたと 町民も財政的に非常 至る所で路面に穴

的に安否を伺うとか、

シ

ーホーンを設置して

に対し地域担当員が定期 る。その事業には高齢者 私も一定の評価をしてい

恩恵に浴せるが、

例えば

域に住む人はこの事業の auの電波がつながる地

岩﨑町長

処する方策がとられてい お年寄りの緊急事態に対

帯は意味がない。

む人は、この貸し出し携 はつながらない地域に住 ドコモはつながるがau

セコムが通報を受信後、ココセコム EZ所持者へすぐに連絡。 応答後必要に応じて重北浦防・本 山管室に通信機します。 また電話が繋がらない場合は事前 にお供いている緊急連絡失の順 次連絡。緊急対処員の急行を必要 の有無を提供

auのケータイ電話を使って皆様が安心安全に暮らしていけるようサポートします

1311

外出時もけいたいできます。

ればならない

全国どこでもau・ココセコムご利用できます。

ご家族の方と相談して、ぜひご検討ください。

に取り組んできたが、 今までも不感地帯解消

今

いるなど、

が空き、

路面が沈下

それ以上お話をされた場合、自己負担となります。

業者の方々にお願いし、 後においても国や民間事

を積極的に進 結する道路網整備、

つめる る

極的に取り組んでいく考そして協力を得ながら積 岩﨑町長

生活に密着する道路網



大王下地内

見守りネットワーク

えである。

だより

外型

安心

ご利用者のご負担額は

315円

好きな場所、好きな時間 にご家族、ごしんせき、 ご友人ともお話すること ができます。

【最大25分まで通話無料】